

平成 23 年 9 月 16 日

各 位

公益社団法人日本技術士会北海道本部オホーツク技術士会
代表幹事 大島 俊之

技術講演会のご案内

皆様方におかれましては、日頃よりオホーツク技術士会の活動にご理解、ご支援賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度下記の内容で技術講演会を開催いたします。

今回の開催は、網走市にて実施し、地域の物流拠点である網走港並びに基幹産業である水産業を支える漁港についての話題及び網走市の防災対策について技術講演会を開催する予定であります。

多くのご参加をお待ちしております。

記

オホーツク技術士会技術講演会

開催日:2011 年 11 月 2 日(水) 午後 3 時 00 分～午後 5 時 30 分

開催場所:網走セントラルホテル (〒093-0012 網走市南 2 条西 3 丁目 TEL 0152-44-5151)

参加費:無料

参加対象:技術者、一般市民

技術士 CPD 対象事業

主催:公益社団法人 日本技術士会北海道本部オホーツク技術士会

講師及び講演内容

講演 1

講師:北海道開発局網走開発建設部網走港湾事務所 所長 北原 繁志 氏

演題:オホーツク地域を支える港湾・漁港事業

講演 2

演題:網走市における防災対策の現状と課題

セッション 1:これまでの取り組みと今後の課題

講師:網走市役所企画総務部総務課長 猪股 淳一 氏

セッション 2:自主防災組織について

講師:網走市役所市民部市民課長 笹尾 誠 氏

セッション 3:災害弱者対策について

講師:網走市役所福祉部介護福祉課長 児玉 卓巳 氏

////////// 講演要旨(講演 1)

網走港湾事務所では港湾である網走港、漁港であるサロマ湖漁港、能取漁港、ウトロ漁港、合わせて4港の整備を行っている。網走港では取り扱い貨物量が最も多いものは海外から輸入された石炭であり、これはオホーツク管内で収穫されたビートを原料とする製糖工場において使用されている。また、オホーツク海は全国有数の水産業が盛んな地域であるが、流水が到達する南限であることなど厳しい自然環境とも直面している。

これらに対して、漁港事業では流水を止めるアイスブームの整備などを行っている。本報告では、これらオ

ホーツク地域における産業の特徴とそれらを支える港湾・漁港事業について紹介する。

講演要旨(講演2)

網走市は、比較的自然災害が少ないまちと言われてきているが、これまで大雨や台風などによる土砂災害や洪水被害など、住民生活や産業活動に幾度か大きな被害を受けている。

今年、東日本大震災が発生したが被災地の一日も早い復興を図ることは重要な課題であるが、同時に、災害発生時の被害を如何に最小限に食い止める「防災」、「減災」の方策を確立していくことも、大変重要な課題である。

現在、網走市では、防災対策の根幹となる地域防災計画の見直しを進めており、地域の自主防災組織の組織化への取組み、災害弱者といわれる高齢者等への対応策についても取組みを行っており、これらについて紹介する。

////////////////////////////////////

参加希望者は、申込書に記入の上、10月28日迄事務局にメール等で申し込みください。

参加申込み事項

参加者名, 所属, 連絡先(メールアドレスまたは、電話番号)

申込先

〒090-8507 北見市公園町165番地

国立大学法人 北見工業大学内 オホーツク技術士会事務局

岡田包儀宛 E-mail : okadagn@mail.kitami-it.ac.jp tel/fax: 0157-26-9489

以上